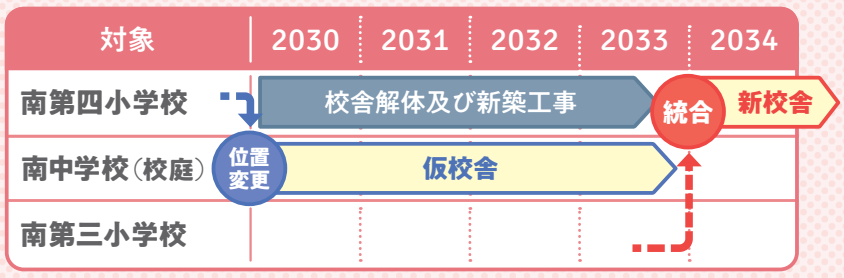
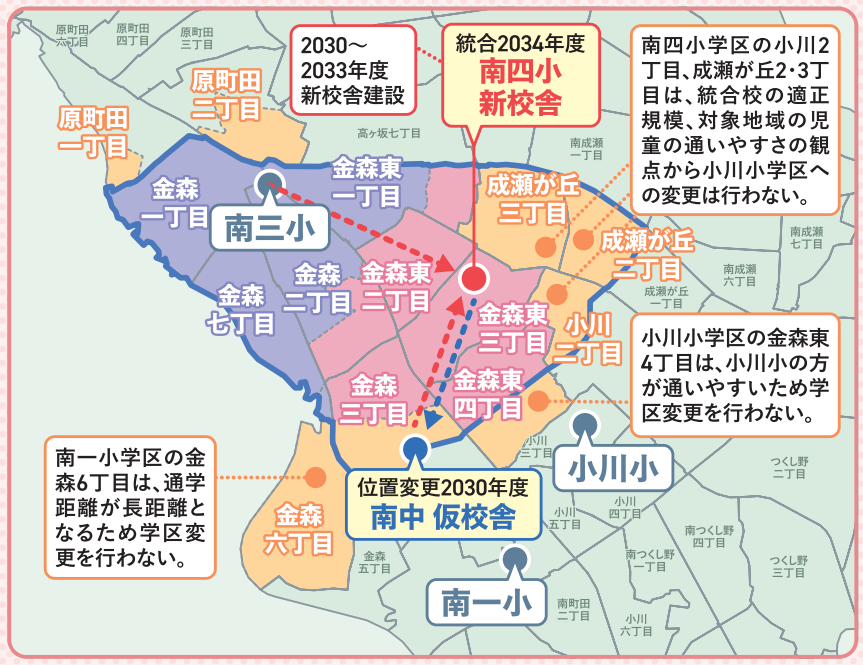
南第三小学校と南第四小学校の統合

2030年度から2033年度までの4ヵ年で、現南第四小学校の用地に新校舎を建設します。その間、南第四小学校の児童は、南中学校の校庭に建設する仮校舎（南一小建替え時に建設するものと同じ校舎を使用）に通学します。2034年度に南第三小学校と南第四小学校を統合し、新校舎の使用を開始します。



当初計画からの通学区域の変更点

南第一小学区の金森6丁目等で予定していた学区変更は、通学のしやすさ等の観点から、右の地図の内容のとおり、行わないこととします。

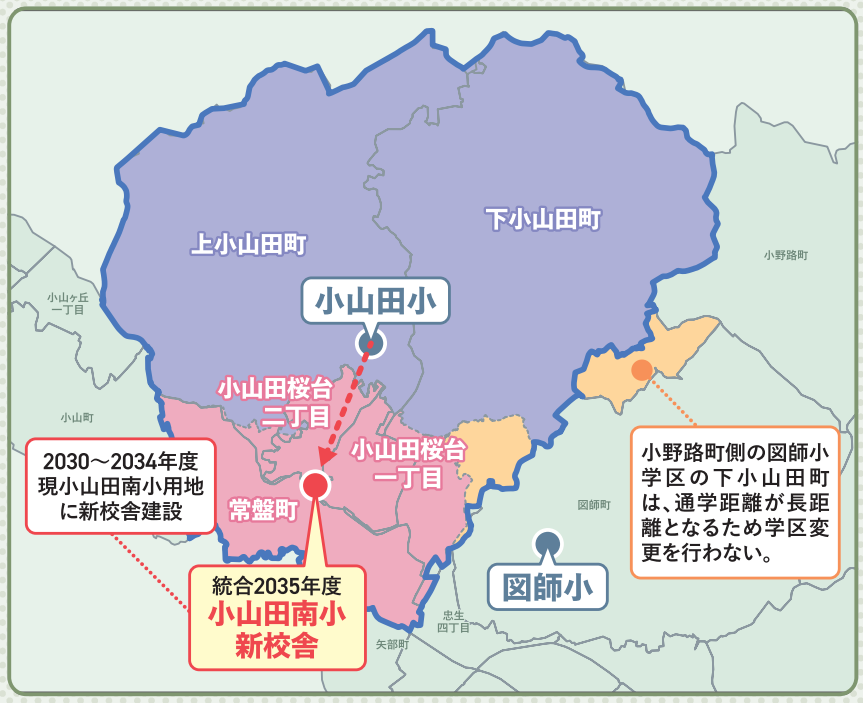


小山田小学校と小山田南小学校の統合

2030年度から2034年度までの5ヵ年で、現小山田南小学校の用地に新校舎を建設します。工事期間中は、小山田南小学校の校庭に建設する仮校舎を使用します。2035年度に、小山田小学校と小山田南小学校を統合し、新校舎の使用を開始します。

当初計画からの通学区域の変更点

図師小学区の下小山田町の一部で予定していた学区変更は、通学距離が長距離となることから、行わないこととします。

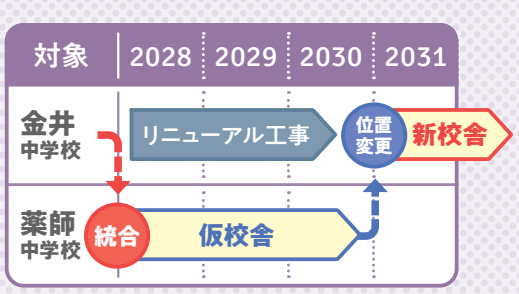


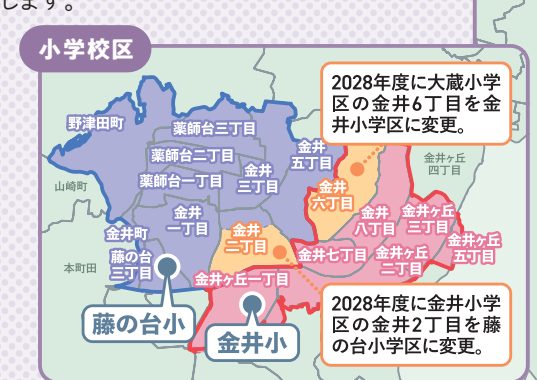
薬師中学校と金井中学校の統合

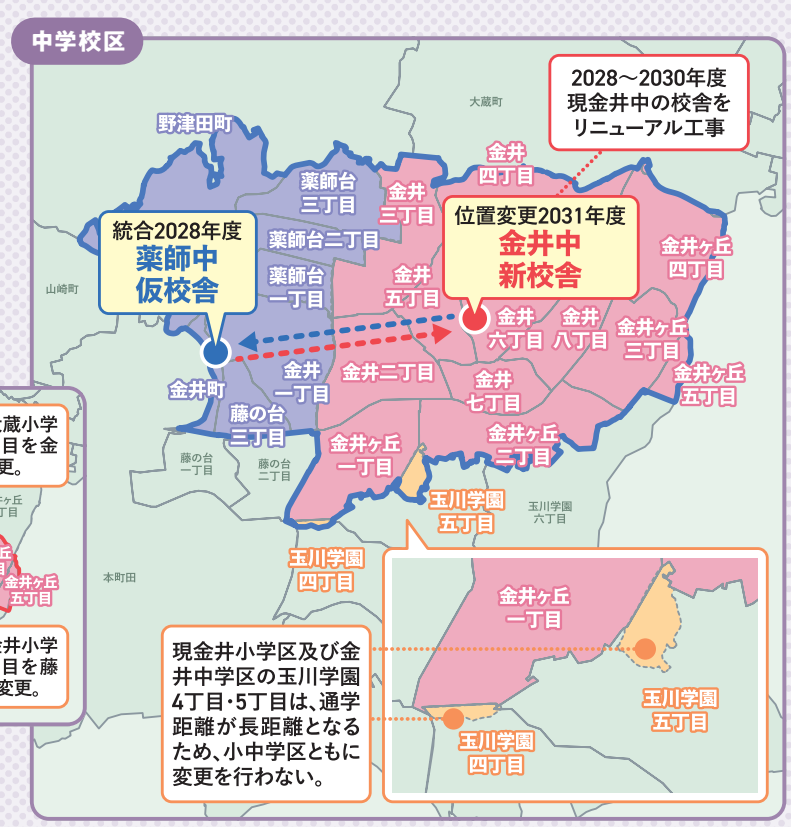
2028年度に薬師中学校と金井中学校が統合し、通学先が現薬師中学校になります。2028年度から2030年度までの3ヵ年で、現金井中学校の校舎のリニューアル工事を行い、2031年度から改修後の校舎の使用を開始します。

当初計画からの通学区域の変更点

薬師中学校と金井中学校の統合中学校に進学する小学校は、藤の台小学校・金井小学校・大蔵小学校ですが、今後、藤の台小学校と金井小学校は児童の減少が進んでいきます。そのため、薬師中学校と金井中学校の統合時に合わせ、現大蔵小学区の金井6丁目と現金井小学区の金井2丁目について、右下の地図の内容のとおり、小学校区の変更を行います。また、現金井小学区及び金井中学区の玉川学園4丁目と5丁目は、通学距離が長距離となるため、小中学区ともに、学区変更を行わないこととします。







リニューアル工事とは？

老朽化対策と学習環境の向上を一体で行う工事です。外壁や内装の改修、ライフラインの更新と併せて、新しい時代の学びを実現する学習・生活空間を整備します。